

野田・上吉影・下吉影小

【創刊号】

統合準備委員会だより



市教育委員会では、市の将来を担う子供たちのより良い教育環境の整備を目指し、学校規模配置の適正化に取り組んでいます。平成26年度に策定した「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」に基づき、今年度から統合準備委員会を設置し、平成35年4月の野田小学校，上吉影小学校，下吉影小学校による統合小学校開校に向けて準備を進めていきます。このたよりは、その開校準備に関する情報をお届けします。

第1回統合準備委員会を開催

7月19日（水）に第1回統合準備委員会を開催しました。
会議の冒頭には、委員を代表して小石川委員へ委嘱状が交付され、その後に委員長，副委員長（委員紹介を参照ください）が選出されました。また、今回の委員会の議事は、以下のとおりです。



【議事内容】

- (1) これまでの経緯及び統合準備委員会の概要について
- (2) 小美玉市における小中一貫教育について
- (3) 小川北中学校敷地及び周辺の現況について

統合準備委員会概要

検討事項：統合校の統合準備に関する事、統合校の建設に関する事
その他目的達成に必要な事項に関する事

(主な検討事項)

- ・校舎建設位置，基本計画
- ・通学方法，スクールバス利用基準，運行方法等
- ・校名，校歌，校章
- ・教育目標，教育課程
- ・制服の有無，体操服等
- ・新PTA組織，規約

委員任期：統合の日までとする（役員の交代や教職員の人事異動の際には、後任の者に委嘱する）
部 会：専門的，詳細なことを調査・検討する組織

組織図例



委員紹介

◎：委員長 ○：副委員長

保護者代表	野田小PTA	小石川 寛則 小川 勲 長谷川 明美	学校職員	野田小 校長	柴森 浩志	
	上吉影小PTA	石井 正道 吉田 洋子 片岡 友加		野田小 教頭 教務主任	新井 淳子 白石 靖弘	
	下吉影小PTA	三代田 久 佐川 栄治 成井 志野		上吉影小 校長 教頭 教務主任	◎久保田 達雄 宇野 和夫 佐藤 正	
	小川北中PTA	古関 文暁 大曾根 憲司 須藤 美智代		下吉影小 校長 教頭 教務主任	青葉 宏一 中村 喜代美 砂田 和広	
地域住民代表	野田小地区 代表区長 区長	赤羽 久志 中村 孝	識見者	小川北中 校長 教頭 教務主任	○久保田 英行 藤田 康広 篠原 みち代	
	上吉影小地区 代表区長 区長	久保庭 裕一 風間 博身			市議会議員	藤井 敏生 長島 幸男 幡谷 好文 石井 旭
	下吉影小地区 代表区長 区長	細谷 省一 菅谷 正治			その他	元気っ子幼稚園PTA
その他	野田小学校 運営協議会長	高野 晴夫	順不同，敬称略			
	小川北中学校 運営協議会長	大曾根 慎悟				

平成35年4月に統合校を新設開校

市教育委員会で平成27年2月に策定した「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」では、野田小学校，上吉影小学校，下吉影小学校を統合し，新しい学校を平成35年4月に開校することとしています。その新しい学校の校舎と体育館は，平成33年度～34年度に建設予定です。また，建設位置は，小川北中学校周辺としています。統合準備委員会では，本実施計画に基づき，今後，具体的な建設位置，校舎の配置等について協議を行っていきます。

○開校時の推計（平成29年データに基づく）

児童数：375人 学級数：12学級（特別支援学級を除く）



統合準備委員会全体スケジュール

	H29	H30	H31	H32	H33	H34
全体	基本計画	→	校名 部会報告	→		
総務・通学部会			通学関係	→		
学校運営部会	教育関係	→		校章校歌 制服 体操服		
PTA部会					備品関係	→
その他	必要に応じて，随時設置・開催					

統合準備委員会スケジュールは，左表のとおりとなります。

対象年度に各検討事項の協議を統合準備委員会全体または部会において始めていきます。部会は，検討が始まる時期に随時設置を行います。

今年度は，準備委員会全体で基本計画の検討，学校運営部会（教職員）で教育内容関係の検討が始まります。

○基本計画

このような学校をつくりたいといった想い・方針をまとめ，施設面に反映させた基本設計図を作成すること。

【例】

・方針
児童が元気いっぱいに外で活動できるようにする。



・設計図へ反映
十分なグラウンドスペースを確保した配置

小美玉市における小中一貫教育について

小美玉市では，市内全域で小中一貫教育を実施します。（仮称）野田・上吉影・下吉影統合小学校は，平成28年6月に策定された「小美玉市小中一貫教育基本方針」（※）に基づき，小川北中学校との小中一貫教育を推進していきます。

○小中一貫校とは

小学校，中学校の教育活動の連続性や一貫性を図る教育を行っている学校

（具体例）9年間のカリキュラムに基づいた指導

段階的な教科担任制（教科の免許状を持つ教員が各教科の授業を担当）の導入
小中学校教員による相互乗り入れ授業の実施

○小中一貫教育で期待される効果

- ・児童生徒にとって，9年間連続したギャップのない学びとなる。
- ・教員の指導力向上，小中学校教職員が相互に乗り入れ授業実施が可能となる。
- ・小学校高学年からの教科担任制を取り入れやすくなる。
- ・PTA組織や学校運営協議会等を1本化しやすくなり，よりスムーズとなる。

○小美玉市小中一貫教育の基本的な考え方（※より抜粋）

市内全小中学校で小中一貫教育を推進する。ただし、各中学校区の実態に応じて、段階的に移行するものとする。

隣接型・併設型小中一貫教育（野田小・上吉影小・下吉影小統合小学校と小川北中）



小川北中 —— 統合小

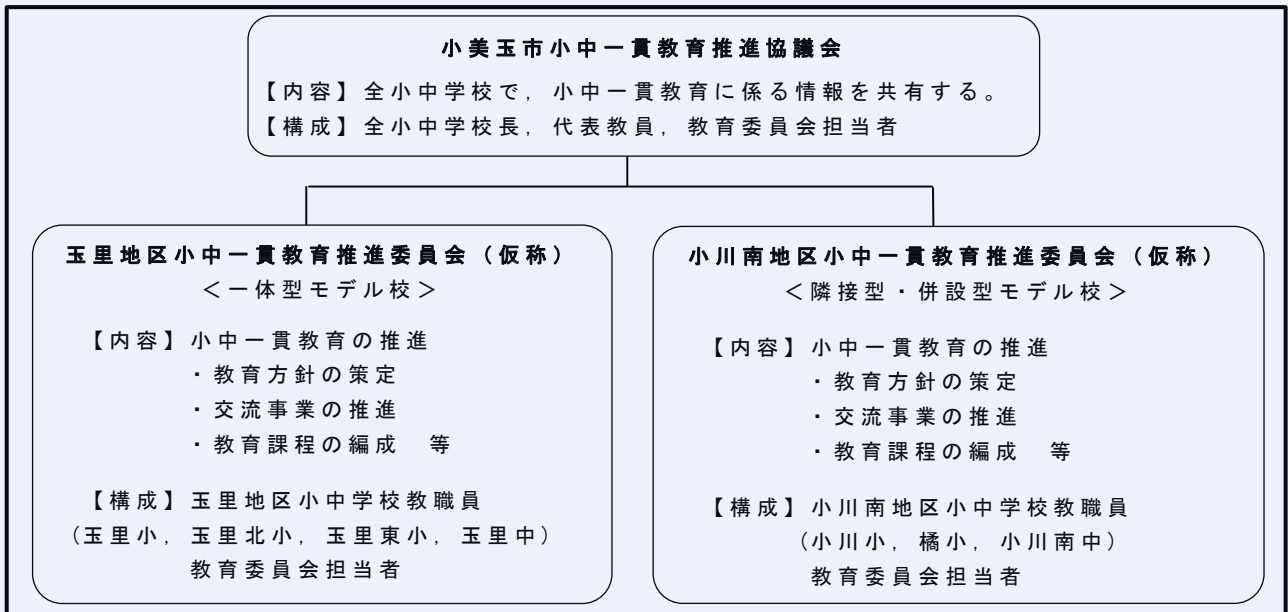
- ・小中で連動した学校教育目標や重点目標を設定する。
- ・学習指導や生徒指導の連動を図る。
- ・小中教員による乗り入れ授業（一部教科）や出前授業を実施する。

想定される小中一貫教育

○小中一貫教育推進のための組織（※より抜粋）

本基本方針に沿って、小美玉市における小中一貫教育及び施設整備を推進するために、以下の組織を置く。

（学校教職員による組織）



統合校整備・開校に係る建設準備委員会等
 【内容】施設整備関係，校名等，通学関係，PTA組織に関する検討等
 【構成】該当校の保護者代表，学校職員，地域住民代表，識見者，その他
 教育委員会担当者

（学校関係者，地域住民による組織）

○小川北中学区における小中一貫教育

基本方針に記載されている「小中一貫教育推進のための組織」の表中、「玉里地区小中一貫教育推進委員会（仮称）」、「小川南地区小中一貫教育推進委員会（仮称）」と同様の組織（※2）を設置し、小中一貫教育を推進していく。※2の活動が統合準備委員会，学校運営部会の活動と重なる。また、その進捗状況は、統合準備委員会に報告等を行い、連携して学校づくりを進めていく。

小川北中学校敷地及び周辺の現況について

○小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画

統合小学校の位置：小川北中学校周辺

○小川北中学校の現況

敷地に接している道路，河川：東－梶無川
 西－県道茨城空港線
 北－県道紅葉石岡線

周辺の土地の主な利用状況：東－畑 西－畑
 南－山林 北－宅地

敷地面積：48,120㎡

校舎建築面積：2,567㎡

校舎延床面積：4,134㎡



○主な意見

以前の統廃合の話の中では、「小川北中学校敷地内北側の駐車場（当時は山林）」、「南側の梶無川と茨城空港線間」、「茨城空港線を渡った南側」、「梶無川を渡った東側」に建設してはどうかという意見があった。

小中一貫校とする際の理想は，同一敷地内に学校があること。小中学校の先生の顔が見える，先生の相互乗り入れができる，児童も安心して中学生と接し，将来はこういった感じだと分かる。多くのメリットがあることを考えると，敷地内に建設が可能であれば，建設していただくと思う。

中学校敷地の一部に小学校を建設した場合，コストが抑えられると思う。

中学校の校庭内に校舎を建てると，かなり狭くなるのではないかなと思う。

中学生と小学生，一人あたりの校庭㎡数がそれぞれ違うと思う。現在と統合時では，生徒数が減少する。それを考えると，中学校の校庭内に小学校を建てても問題がないのではないかなと思う。

⇒（事務局）市内の学校は全て，文科省のグラウンド整備面積の基準を大幅に上回っている。

中学校敷地内に小学校が建った場合，グラウンドを減らしてほしくない。人数としては，小学生と共用しても十分活動できるスペースだと思う。しかし，小学生と中学生でどうしても分けなくてはならないものがあると思う。授業において，1つの体育館では不十分。低学年だけでも使えるような体育館を造らないと，教育課程を実施することは難しい。ただ，小学校が中学校のそばにあることは良いと思うので，近くまたは敷地内に造ると良いと思う。

新校舎は，グラウンドに面し，どこにおいてもグラウンドが良く見える位置，できれば南側がグラウンドに面していると良い。また，小学校は遊具が必要になってくる。中学校のグラウンドで部活動等を行うことを考えると，その邪魔にならない場所に設置しなくてはならないと思う。

学童が建物と同敷地内に建つと助かる。

学校の建て方ということもある。現在，校舎の北側は駐車場，駐輪場となっている。例えば，これらの施設を活用した建て方も考えられると思う。できれば，小学生と中学生が常に見え，先生も連携が取れるようなことであれば，敷地内で計画していただきたいと思う。

校舎建設位置の統合準備委員会の方向性

小川北中学校敷地内に小学校を建設することとする。
 委員の意見にあった懸案事項について，協議を行っていく。

※会議の議事録等は，市ホームページで公開しています。

<http://city.omitama.lg.jp/0025/genre1-2-001.html>



発行：野田・上吉影・下吉影小学校統合準備委員会

（事務局）小美玉市教育委員会
 施設整備課 学校づくり推進係

〒311-3492 小美玉市小川4-11

電話 0299-48-1111（内線2212・2216・2217）

Eメール gakko@city.omitama.lg.jp

今回の統合準備委員会は，9月下旬を予定しています。日程が決まり次第，市HPでお知らせします。傍聴希望の方は，事務局までご連絡ください。